

[ 議案 3 号 ]

第 4 0 期 ( 2 0 0 8 年度 ) 事業計画

本会が第 4 0 期 ( 2 0 0 8 年 3 月 1 日 ~ 2 0 0 9 年 2 月 2 8 日 ) に行う事業の実施計画は次の通りである。

研究発表および学術講演会の開催 ( 定款 5 条 1 号 )

- ・ Asian Joint Conference on Propulsion and Power 2008, AJCPP2008 / 第 48 回航空原動機・宇宙推進講演会を下記のとおり行う。

日時 2008 年 3 月 6 日 ~ 2008 年 3 月 8 日

場所 Gyeongju TEMF HOTEL ( 韓国 慶州 ) 参加予定者数 200 人 演題数 150 件

- ・ 第 3 回全日本学生室内飛行ロボットコンテストを下記のとおり行う。

日時 2008 年 3 月 21 日 ~ 2008 年 3 月 22 日

場所 大田区産業プラザ ( 東京都 ) 参加予定者数 30 チーム

- ・ 第 39 期通常総会および年会講演会を下記のとおり行う。

日時 2008 年 4 月 3 日 ~ 2008 年 4 月 4 日

場所 宇宙航空研究開発機構 航空宇宙技術研究センター ( 東京都調布市 )

通常総会 参加予定者数 2,000 人 ( 委任状を含む )

年会講演会 参加予定者数 250 人 演題数 50 件

- ・ 第 40 回流体力学講演会 / 航空宇宙数値シミュレーション技術シンポジウム 2008 を下記のとおり行う。

日時 2008 年 6 月 12 日 ~ 2008 年 6 月 13 日

場所 東北大学 片平キャンパス ( 仙台市 ) 参加予定者数 300 人 演題数 150 件

- ・ 第 26 回宇宙技術および科学の国際シンポジウム ( 第 26 回 ISTS ) を下記のとおり行う。

日時 2008 年 6 月 1 日 ~ 2008 年 6 月 8 日

場所 アクトシティ浜松 ( 浜松市 ) 参加予定者数 850 人 演題数 570 件

- ・ 第 50 回構造強度に関する講演会を下記のとおり行う。

日時 2008 年 7 月 30 日 ~ 2008 年 8 月 1 日

場所 北九州国際会議場 ( 北九州市 ) 参加予定者数 150 人 演題数 100 件

- ・ 平成 20 年度空の日・宇宙の日記念特別講演会を下記のとおり行う。

日時 2008 年 9 月 10 日

場所 航空会館 大ホール ( 東京都 ) 参加予定者数 150 人 演題数 2 件

- ・ 第 46 回飛行機シンポジウムを下記のとおり行う。

日時 2008 年 10 月 22 日 ~ 2008 年 10 月 24 日

場所 大田区産業プラザ ( 東京都 ) 参加予定者数 500 人 演題数 250 件

- ・ 第 4 回全日本学生室内飛行ロボットコンテストを下記のとおり行う。

日時 2008 年 10 月 24 日 ~ 2008 年 10 月 25 日

場所 大田区産業プラザ ( 東京都 ) 参加予定者数 30 チーム

- ・ 第 52 回宇宙科学技術連合講演会を下記のとおり行う。

日時 2008 年 11 月 5 日 ~ 2008 年 11 月 7 日

場所 淡路夢舞台国際会議場 ( 淡路市 ) 参加予定者数 500 人 演題数 400 件

- ・ 2008 KSAS-JSASS Joint International Symposium on Aerospace Engineering ( 飛行機シンポジウム第 22 回国際セッション ) を下記のとおり行う。

日時 2008 年 11 月 20 日 ~ 2008 年 11 月 21 日

場所 Ramada Plaza Jeju Hotel ( Jeju, KOREA ) 参加予定者数 120 人 演題数 90 件

- ・ 第 14 回スカイスポーツ・シンポジウムを下記のとおり行う。

日時 2008 年 12 月初旬 ( 予定 )

場所 未定 参加予定者数 150 人 演題数 20 件

以上のほか、関連学術団体との主催・共催講演会、本会支部主催講演会等を下記のとおり行う。

- ・ 北部支部 2008 年講演会ならびに

第 9 回再使用型宇宙推進系シンポジウム 2008. 3.10 ~ 11 ( 北部支部主催 )

・ 第 57 回理論応用力学連合講演会 2008. 6.10 ~ 12 ( 本会共催 )

・ 第 51 期中部支部大会および特別講演会 2008. 3.19 ( 中部支部主催 )

・ 西部支部第 36 期総会および特別講演会 2008. 3.21 ( 西部支部主催 )

・ 第 54 回関西支部総会および特別講演会 2008. 4.18 ( 関西支部主催 )

・ 第 45 回日本伝熱シンポジウム 2008. 5.21 ~ 23 ( 本会共催 )

・ 第 27 回混相流シンポジウム 2008. 8. 9 ( 本会共催 )

・ 安全工学シンポジウム 2008 2008. 7.10 ~ 11 ( 本会共催 )

・ 第 52 回材料工学連合講演会 2008.10. ( 本会共催 )

・ 西部支部講演会 ( 2008 ) 2008.10. ( 西部支部主催 )

・ 第 16 回衛星設計コンテスト 2008.11. 2 ( 本会主催 )

・ 第 51 回自動制御連合講演会 2008.11. ( 本会共催 )

・ 第 45 回中部支部・関西支部合同秋期大会 2008.11. ( 関西/中部支部 )

・ 第 46 回燃焼シンポジウム 2008.12. ( 本会共催 )

会誌その他図書の刊行(定款5条2号)

- ・学会誌「日本航空宇宙学会誌」を下記のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数	発行年月日	巻	号	発行部数
2008年3月5日	56	650	4,250部	2008年9月5日	56	656	4,250部
2008年4月5日	56	651	4,250部	2008年10月5日	56	657	4,250部
2008年5月5日	56	652	4,250部	2008年11月5日	56	658	4,250部
2008年6月5日	56	653	4,250部	2008年12月5日	56	659	4,250部
2008年7月5日	56	654	4,250部	2009年1月5日	57	660	4,250部
2008年8月5日	56	655	4,250部	2009年2月5日	57	661	4,250部

- ・和文論文集「日本航空宇宙学会論文集」を下記のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数	発行年月日	巻	号	発行部数
2008年3月5日	56	650	4,250部	2008年9月5日	56	656	4,250部
2008年4月5日	56	651	4,250部	2008年10月5日	56	657	4,250部
2008年5月5日	56	652	4,250部	2008年11月5日	56	658	4,250部
2008年6月5日	56	653	4,250部	2008年12月5日	56	659	4,250部
2008年7月5日	56	654	4,250部	2009年1月5日	57	660	4,250部
2008年8月5日	56	655	4,250部	2009年2月5日	57	661	4,250部

- ・欧文論文集“Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences”を下記のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数	発行年月日	巻	号	発行部数
2008年5月4日	51	171	4,250部	2008年11月4日	51	173	4,250部
2008年8月4日	51	172	4,250部	2009年2月4日	51	174	4,250部

- ・和文オンラインジャーナル誌「宇宙技術」をJ-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)に随時発行する。

- ・欧文オンラインジャーナル誌“Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences, Space Technology Japan”をJ-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)に随時発行する。

研究および調査(定款5条3号)

- ・第36期(2004年3月1日~2005年2月28日)に、航空宇宙技術リエゾン委員会内に「将来型宇宙輸送システム」ワーキンググループを設置し、宇宙航空研究開発機構(JAXA)と大学との研究情報交換の橋渡しを行った。この活動はその後も継続的に実施されており、第40期も引き続き研究者データベースを基にした企業および研究機関と大学の双方向の情報交換を積極的に進める。
- ・第39期(2007年3月1日~2008年2月29日)は、宇宙航空研究開発機構(JAXA)より委託された次の2件の受託研究、(1)航空機構造の疲労・信頼性に関する国内外の研究調査、(2)サイレント超音速機に関する調査研究(その2)を実施した。第40期も引き続き本受託研究事業を積極的に推進したい。

関連学会等との連絡および協力(定款5条4号)

- ・関連学術団体の行事に協力し、講演会等の事業を協賛・後援する。

その他目的を達成するために必要な事業(定款5条5号)

- ・第17回(2007年度)日本航空宇宙学会賞を下記のとおり表彰する。

論文賞(2件):「ヘリコプタ着陸進入時における地上騒音低減のための最適飛行 - 最適な高度・速度制御について - 」

土屋 武司、石井 寛一、内田 惇一、五味 広美、又吉 直樹、奥野 善則

「酸水素反応を伴うベル型ノズルの数値解析及び性能評価」

坪井 伸幸、伊藤 隆、宮島 博

技術賞〔基礎技術部門〕(2件):

「VaRTM製法による低コスト主翼一体構造の製造」

永尾 陽典、岩堀 豊、平野 義鎮、青木雄一郎、中村 俊哉、倉谷 泰成、魚田 直希

「CAMUI型ハイブリッドロケット技術」

永田 晴紀

〔プロジェクト部門〕(1件):

「光衛星間通信実験衛星(OICETS)の開発及び光衛星間通信実験」

荒井 功恵、山本 昭男、小山 善貞、中川 敬三、山脇 敏彦、城野 隆、間瀬 一郎、

池辺 憲一、佐藤 尚樹、白玉 公一、小倉 直人

奨励賞(3件): 住 隆博 「高精度マルチブロック流体計算のための一般化特性インターフェイス条件の構築とその性能評価」

岡本 光司 「ウェーブロータ内部流動の可視化」

「ウェーブロータ設計支援に向けた全体解析モデルの構築」

渡部 武夫 「エレクトロダイナミックテザー推進における電流入力整形」

- ・第18回(2008年度)日本航空宇宙学会賞の選考を行う。

- ・第8回(2008年度)日本航空宇宙学会学生賞の受賞者を決定し、受賞者表彰を行う。